

2021年12月20日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祐
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 管理部部长 新 谷 義 信
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

オンキヨー株式会社との業務提携及び 補聴器事業参入に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、オンキヨー株式会社（本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：大臈宗徳、以下、オンキヨー）との間でヘルスケア、食品及びアグリ事業等に関する包括的な業務提携契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携について

(1) 業務提携の目的

当社は「医薬」(Pharmaceuticals)と「食」(Foods)の融合を実現するため、「機能性素材」「バイオメディカル」「通信販売」の3事業において、機能性食品、化粧品、抗体医薬品等の研究開発及び販売をしてまいりました。今般の中期経営計画2026では、「新価値創造1k」プロジェクトとして、非食品分野への進出を掲げております。

オンキヨーは、音響に関する長年のものづくりで培ってきたブランド及び技術をもとに、従来の家電機器領域からAI、健康及び食品など新たな事業領域へ進出しております。

この度、両社が注力しているデバイス、AI技術を活用して、様々なヘルスケア領域での収益拡大を図り、企業価値向上を目指すべく、本業務提携を行うことを決定いたしました。

業務提携の取組みの第一弾として、オンキヨーブランド補聴器の取扱いを開始し、補聴器の販売事業に参入いたします。

(2) 業務提携の内容

当社とオンキヨーは、以下の項目を含め、包括的業務提携を推進することで合意しております。なお、本提携の具体的方針及び内容につきましては、今後両社が協議して決定いたします。

① オンキヨーブランド補聴器の当社通信販売チャンネルでの販売

※ 補聴器販売についての詳細は、本日開示しておりますニュースリリース（別紙）「難聴による認知機能の低下を救え！補聴器通販市場へ参入」をご参照ください。

② オンキヨーの振動制御技術を用いた発酵食品の研究開発及び販売並びに植物生育効果によるアグリ事業の研究開発

③ オンキヨーの振動解析技術を用いた健康機器等の研究開発及び販売

④ オンキヨーのシニア向け音声解析技術を用いたコールセンターシステムの研究開発及び販売

2. 業務提携先の概要

(1)	名 称	オンキヨー株式会社
(2)	所 在 地	大阪府東大阪市川俣1丁目1-41
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大舩 宗徳
(4)	事 業 内 容	音響機器のインターネット販売、電子機器・ソフトウェア等の研究、開発設計
(5)	資 本 金	112百万円 (2021年6月30日現在)
(6)	設 立 年 月 日	2020年10月12日
(7)	大株主及び持株比率 (2021年6月30日現在)	TK-FUND 合同会社 100%
(8)	当 事 者 間 の 関 係	
	資 本 関 係	該当事項は有りません。
	人 的 関 係	該当事項は有りません。
	取 引 関 係	該当事項は有りません。
	関連当事者への該当状況	該当事項は有りません。
(9)	最近3年間の経営成績及び財政状態	非公開とすることを求められているため記載しておりません。

3. 日程

- | | |
|----------------|-------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2021年12月20日 |
| (2) 本業務提携契約締結日 | 2021年12月20日 |
| (3) 事業開始日 | 2021年12月20日 |

4. 今後の見通し

本業務提携が当社の2022年7月期の連結業績に与える影響は現時点では軽微と見込まれておりますが、中長期的には両社の企業価値向上に大きく資するものと考えております。今後、業績に重要な影響を及ぼすことが明らかとなった場合には、速やかに公表いたします。

各位

2021年12月20日

難聴による認知機能の低下を救え！ 補聴器通販市場へ参入、普及率拡大を担う

株式会社ファーマフーズ(本社：京都市西京区、代表取締役社長：金武祚)は、オンキヨー株式会社（本社：大阪府東大阪市、代表取締役社長：大拙宗徳、以下、オンキヨー）が開発する補聴器の販売を決定し、補聴器通販市場へ参入いたします。

難聴はQOLの低下をもたらす

難聴は日常生活における仕事や睡眠へ影響を与えるだけでなく、認知機能の低下をもたらすなど健康へ及ぼすことが報告されています。したがって、難聴度が軽・中度の段階で補聴器の使用を開始することは、心身ともに健康な状態で日常生活を送ることにつながります。

補聴器普及率が低い日本では、低・中価格帯を普及させる必要がある

日本の難聴者に対する補聴器所有率は14%程度[※]と、欧米の半分程度の普及となっております。また、特に難聴度が低い人たちの補聴器所有率の低さが特に目立ちます。普及率の低さの要因は、補聴器に対するイメージ、価格、購入場所等が関連していると考えられています。

国内の補聴器所有者の平均購入価格は15万円[※]程度と言われており、中には片耳で数十万円の機種もあります。軽・中度の難聴者が購入するにはハードルが高いと言えます。しっかりとした品質を保ちながら、なおかつ購入しやすい価格のものがあれば、補聴器所有率を上昇させることができると当社は考えております。

※ 出典：一般社団法人 日本補聴器工業会「JapanTrak 2018 調査報告」

日本が誇るオンキヨーブランドの補聴器、将来的には当社専用モデルの投入も

質、価格ともに満足できる補聴器を提供するため、この度音響機器のトップメーカーであるオンキヨーと提携し、同社製品の販売を2022年2月に開始いたします。オーディオメーカーとして培った、オンキヨーならではの音へのノウハウを活かし、より良い聴こえを提供することで、当社は日常生活に価値ある豊かさを提供してまいります。



価格は右耳用・左耳用で定価49,800円（非課税）で、当社の通信販売チャネルにて販売いたします。補聴器の使用がもっと当たり前になるように、新たな健康の価値観を提案することでその普及に努めてまいります。中長期的には年間10万台の販売、補聴器通販業界No.1を目指します。



オンキヨー補聴器

ファーマフーズのサステナビリティビジョンは、「免疫」「老化」「神経」に寄与する研究開発を通じて、「100歳時代に価値ある豊かさと価値ある健康を」社会に提供することです。健康食品や化粧品にとどまらず、医療機器等のデバイスの普及を通じて、100歳時代にイキイキとワクワクを提供できるよう、事業に取り組んでまいります。